

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (333), 課コード (0304), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, and (4) 目標設定は適切か? with various checkboxes and data points.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (338), 課コード (0304), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details for fiscal year 2017.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency, each with a 'Check' column.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for evaluation comments.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (340), 課コード (0304), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for improvement strategies.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (346), 課コード (0304), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, (8)施行事項, (9)財源内訳, (10)人件費等, (11)単位費用.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1)事業が今必要である理由, (2)市が実施する必要性, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫, (7)目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	2090	課コード	0304	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	空家対策事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無	②部課名	市民生活部・市民安全課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成24年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数)	0.75人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 6,924千円 (うち人件費 6,600千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全安心アドバイザーによる防犯診断や防犯講習会を通じて、市民の防犯意識を高めます。また、防犯協議会や自治会、警察署などと連携して空き地や空き家など死角になりやすい場所の把握・改善に努めるとともに、防犯灯の設置や道路上の違反広告物の撤去などを行い、地域ぐるみで犯罪を生まない環境整備を進めます。空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、適切に管理されていない空き家等の対策に取り組む。 ・空き家の情報提供件数 平成24年度 371件、平成25年度 43件、平成26年度 90件、平成27年度 100件 ・特別措置法に基づく特定空家等の調査、助言及び指導等 ・空家管理台帳の整備 ・現地確認 (応急措置含む) 定期的なパトロールの実施、情報提供による現地調査 ・所有者把握及び通知 ・空家等の所有者等に対し、適切な管理を行うよう依頼文書を送付する。 ・空家等実態調査の実施 ・空家等対策協議会の運営 ・空家等対策計画の策定			事業目的	空家等の所有者に対し、空家等の適切な管理のために助言及び指導等を行い、市民の良好な生活環境を確保する。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	4月~3月 (H29) ・空家管理台帳の整備、情報提供 (受付) ・現地確認 (応急措置含む) ※応急措置：年間4件程度 (想定) ・所有者確認事務及び通知文書送付 ・空家等対策協議会の運営 ・空家等対策計画の策定				
					当該年度活動結果指標	空家等の情報提供件数	単位	件	想定値	100
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	空家等の所有者等に改善を求めていく				直接	空家等の改善数		件	100	50
3年後	空家等の所有者等に改善を求めていく				直接	空家等の改善数		件	130	65
最終 (概ね5年後)	特定空家等の所有者等に改善を求めていく				直接	空家等の改善数		件	150	75
(7) 事業実施上の課題と対応	空家等は、個人の資産であり、所有者等が適切な管理を行うことが原則であるため、解決には時間を要する。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
		政策内容	金額(千円)	政策内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策内容	金額(千円)	政策内容	金額(千円)
		特定空家等消耗品 (ト50-F、針金等)	50	特定空家等消耗品 (ト50-F、針金等)	40		特定空家等消耗品 (ト50-F、針金等)	40	特定空家等消耗品 (ト50-F、針金等)	40
		* 空家等実態調査業務委託料	7,252	* 空家等対策計画印刷製本 (100部)	200		* 空家等対策推進協議会委員報酬	84	* 空家等対策推進協議会委員報酬	84
		* 空家等対策推進協議会委員報酬費	28	* 空家等対策協議会委員報酬	84					
予算(済)額	合計		合計		合計		合計			
		7,330		324		124		124		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	3,640	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源			3,690			324		124	124
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.45		0.75		0.45		0.45		
	正職員人件費	3,960		6,600		3,960		3,960		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	11,290		6,924		4,084		4,084			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	112.9千円/件		69.24千円/件							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	適切な管理が行われていない空家の増加によって、様々な問題が発生することが想定される。治安の低下や犯罪の発生、安全性の低下、雑草の繁茂や不法投棄の誘発による公衆衛生の低下、景観の悪化や地域のイメージの低下等があげられる。今後も増加が予想される空家に対して、適切な管理を促す必要があることから、所有者の把握及び指導を行うものである。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 管理不十分な空家等の情報提供については、市民の協力を得る。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (件)	目標値 (b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	100	50	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (件)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	6,924	4,366	<削減の内容>		<超過理由等>				
事業費削減率 (%)									
38.67									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.72	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					